

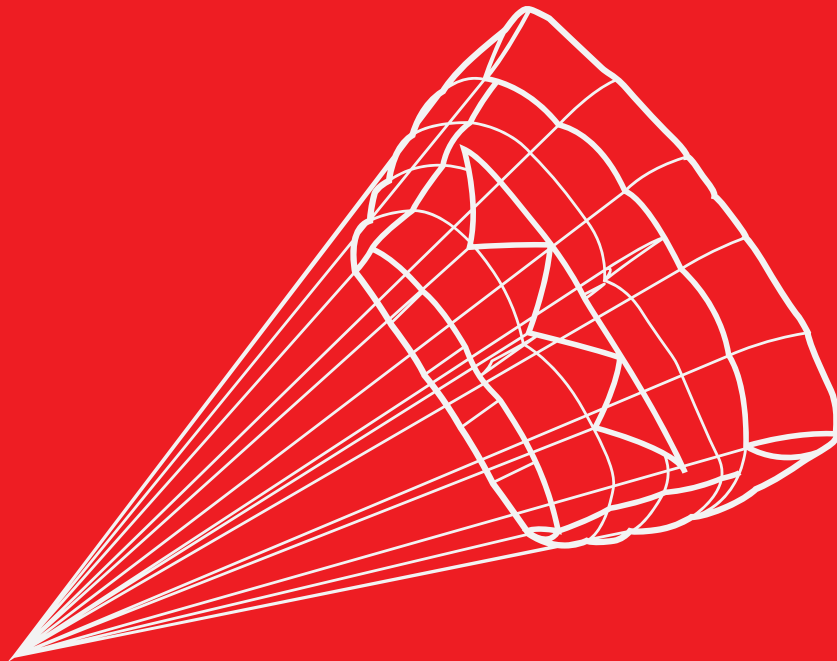


GIN



Yeti Cross 2

RESCUE PARACHUTE MANUAL



Please read this manual prior to installing the GIN rescue parachute into your harness

v.2.0 01/2024

ジングライダーをお選びいただきありがとうございます。

GIN レスキューでは、空中で多くの価値ある体験をお楽しみいただけると確信しています。このマニュアルには、安全性、性能、メンテナンスに関する重要な情報が含まれています。最初のフライトの前に読んで、参照用に保管しておいてください。

レスキューを再販売する場合は、このマニュアルを新しい所有者にお渡しください。

このマニュアルの更新または関連する安全情報については、当社ウェブサイト www.gingliders.com で公開されます。

当社の Web サイトから電子メールによる更新情報を登録することもできます。

Happy flying and safe landings

GIN TEAM

安全上の注意

他のエクストリームスポーツと同様に、パラグライダーは怪我や死につながる可能性がある、予測できないリスクが伴います。飛行を選択することにより、あなたはそれらのリスクに対する唯一の責任を負います。適切な姿勢、トレーニングと経験を持ち、用具を適切に理解し使用することにより、リスクを最小限に抑えることができます。常にあなたの知識を広げ、自立心を育むように努めてください。

ご不明な点がある場合は、最初の連絡先としてご購入いただいたショップ、またはお住いの国の GIN GLIDERS 輸入業者、または Gin Gliders に直接ご相談ください。

パラグライダー中に発生する可能性のあるすべての状況や状態を予測することは不可能であるため、このマニュアルは、パラグライダー用品の安全な使用について表現しません。GIN GLIDERS も GIN GLIDERS 製品の販売者も、あなた自身、または他の誰かの安全を保証したり、責任を負うことはありません。

多くの国では、パラグライダー活動に関する特定の規制や法律があります。あなたが飛ぶ地域の規制を知り、遵守することはあなたの責任です。

目的

Yeti Cross 2 は、パラグライダーパイロットが飛行中に緊急事態に陥った場合に、手動で開傘するパラシュートとして使用するために開発されました。

利用条件

使用最高速度：32m/s (115km/h)

リパック間隔：6 か月

レスキューパラシュートをリパックした際、本書のリパックの履歴に記入する必要があります。

検査間隔：6 か月

レスキューパラシュートをリパックするたびに、損傷がないか検査する必要があります。水、砂、塩、またはその他の環境影響の影響により、リパック間隔 / 検査間隔が短くなる可能性があります。

交換：10 年。

一度も使用されなかった場合でも、レスキューを交換することをお勧めします。

Model (Type)	YETI CROSS 2 一人用			
サイズ		S	M	L
面積	m ²	20.5	24	28
ライン長	m	4.67	5.05	5.49
センターライン	m	2.13	2.3	2.5
重量	kg	1.09	1.23	1.38
沈下率	m/s	5.4	5.2	5.2
ライザー数		1	1	1
パック時容積	cm ³	3400	3750	4100
最小/最大荷重	kg	55/85	70/105	80/125

認証：N 12491:2015 standard

GIN GLIDERS のレスキューパラシュートは、工場で検査されパッキングされています。ハーネスに取り付ける前に、適切な資格と経験を備えたパラグライダーの専門家、またはパラシュートリガーによって、レスキューパラシュートをパッキングすることをお勧めします。

レスキューパラシュートの有効性とあなたの命は、正しいパッキング手順にかかっています。何か疑問がある場合は、インストラクター、GIN ディーラー、または輸入業者に専門的なアドバイスを求めてください。

AIRING

パッキングする前に、キャノピーに空気を入れてください。

理想的には、キャノピーの頂点を天井から吊り下げ、涼しく乾燥した部屋に6～24時間置く必要があります。

準備

パッキングエリアは、広く清潔で滑らかな乾燥した場所でなければなりません。

予備資料

パッキング手順を開始する前に、以下のものが揃っていることを確認してください。

- 滑らかで清潔な重り、またはショットバッグ 2 個 (2～2.5kg)
- ゴムバンド

レイアウト

まず、中央上部パネルとリパックカードに記載されているシリアル番号を確認してください。*リパックカードはこのマニュアルの最後に添付されています。

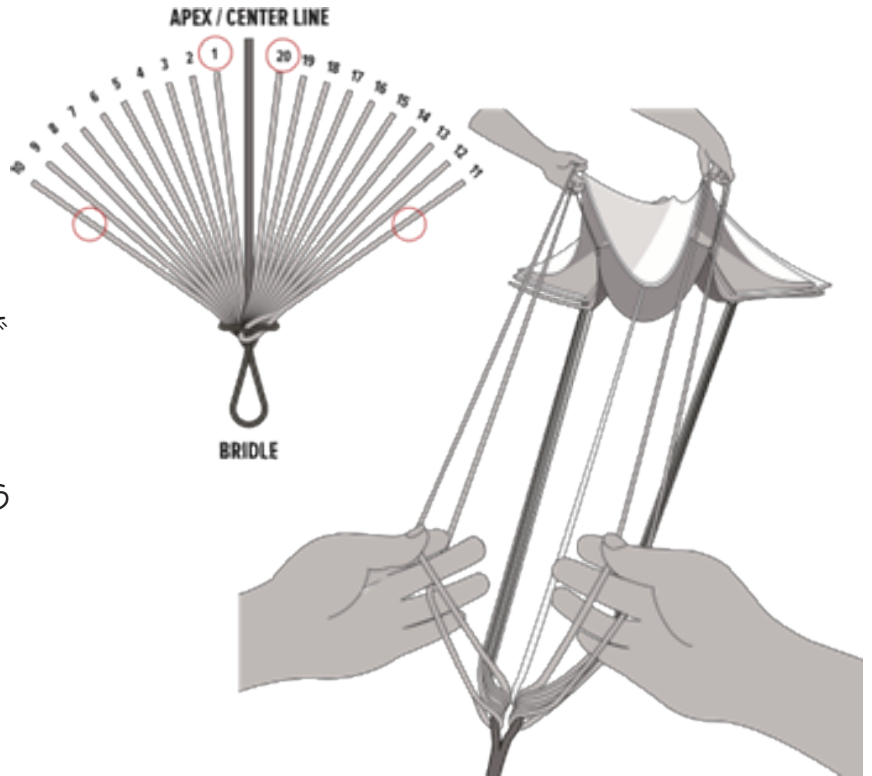
カラビナを使用してライザーをしっかりと固定します。

スペアパーツ

リパック用のゴムバンド (袋入り)

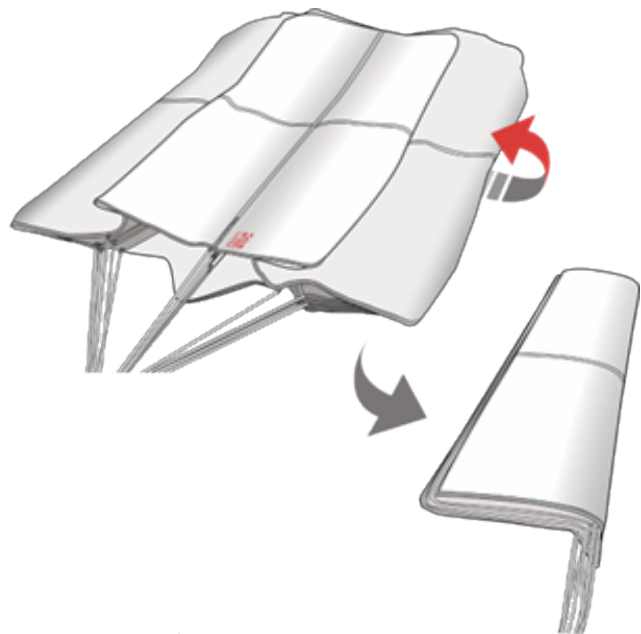
ラインチェック

- 1) レスキューパラシュートを全長まで伸ばします。
 - 2) ラインにねじれがないように、ライザーを固定します。
 - 3) 「4ラインチェック」方法でサスペンションラインのもつれをチェックします。
- すべてのラインは、次のように最初の2ラインと最後の2ラインの内側に配置する必要があります。 右図参照



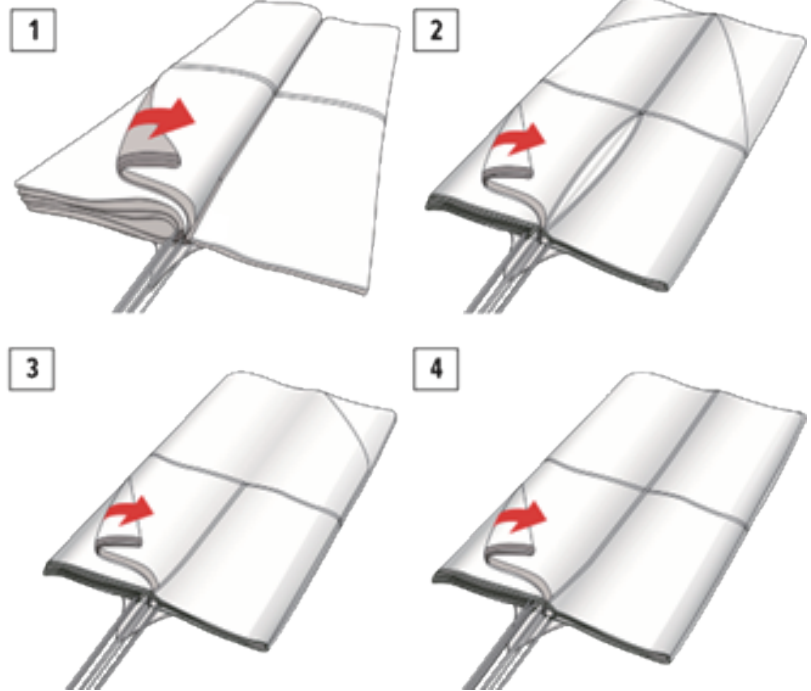
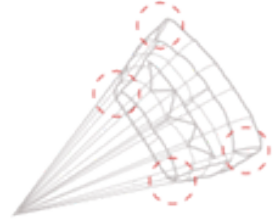
パネルを折りたたむ

- 1) 次のようにラインを分けま
す。
- 1が上、11が下、中心線の真ん中にあることを確認してください。
- 2) すべてのパネルを左側に向けて半分に折ります。



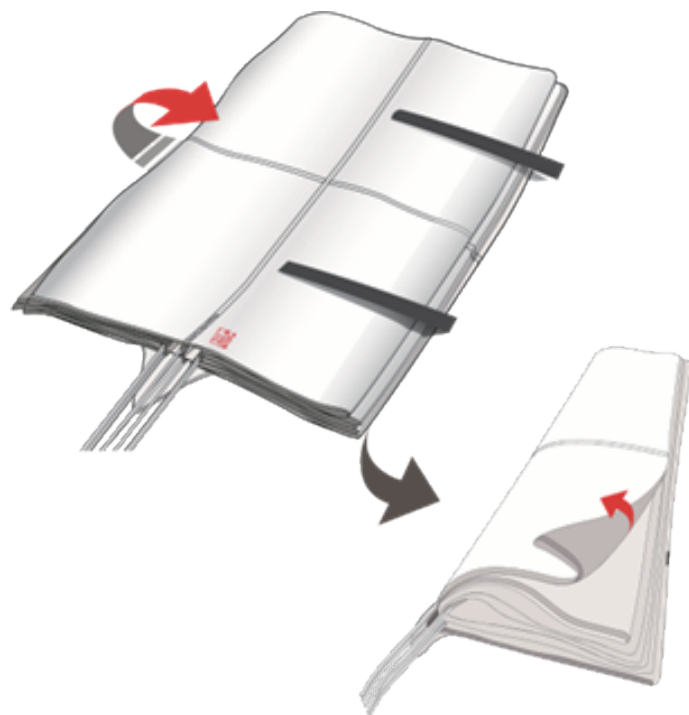
注：ジンスタブを基準点として使用してください。

パネルを分割する
すべてのパネルを右側に
折り始めます。
両側に2つのコーナーセ
クションがあります。
以下に示すように折りた
たむ必要があります。



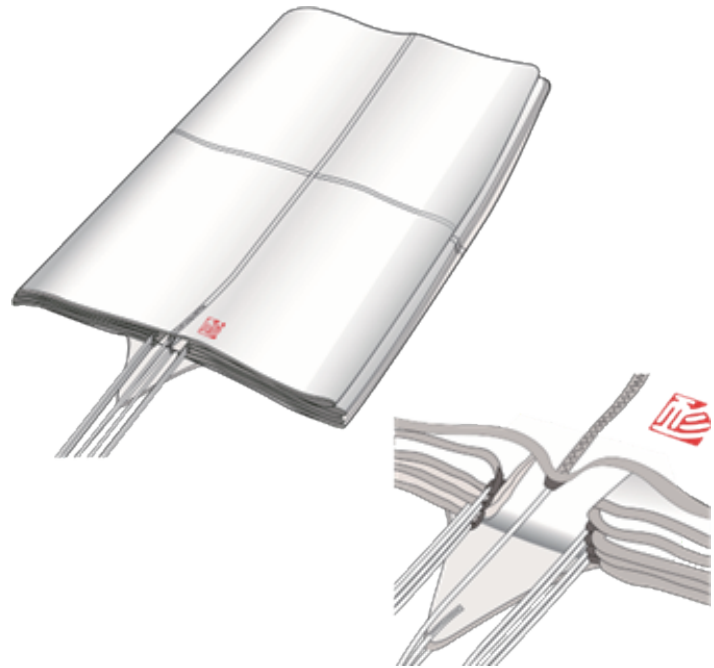
重要: 両側の2つのコー
ナーセクションを図の
ように折りたたむ必要
があります。

上部パネルに到達したら、
折り目をきれいに保つた
ために右側に重りを置きま
す。レスキューパラ
シュートをもう一度半分
に折り、今度は右側に置
きます。
左側のパネルに対して手
順1～4を繰り返します。
重要: すべてのスカート
が均等で、すべてのライ
ンがしっかりとつながっ
ていることを確認してく
ださい。



レスキューパラシュートの両側をきちんと折りたたんだ後、パネルがきれいで、ラインが絡まっていないことを確認します。

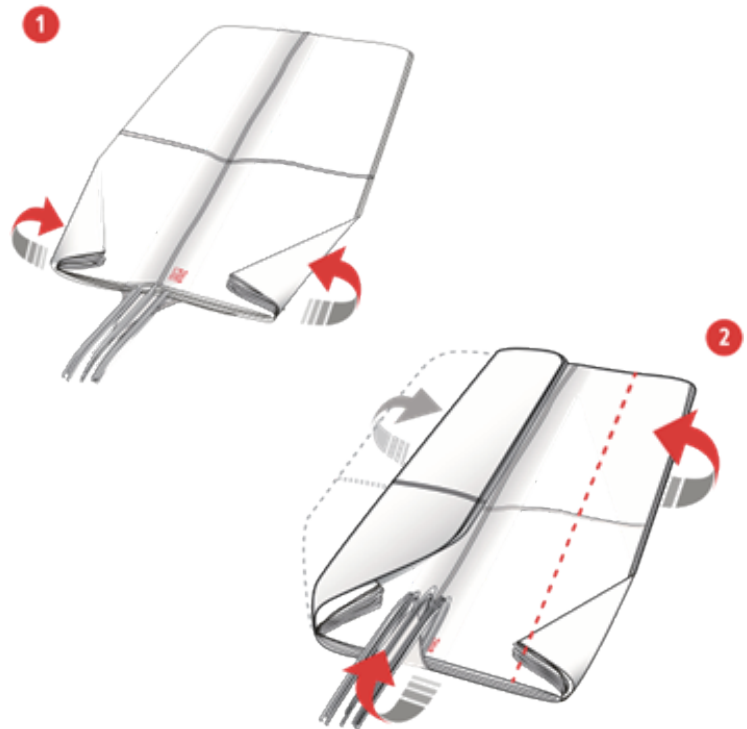
重要:すべてのパネルを折りたたんだ後、中央の縫い目とパネルの内側が均等であり、同じ方向にあることを再度確認してください。



インナーコンテナへの折りたたみ方

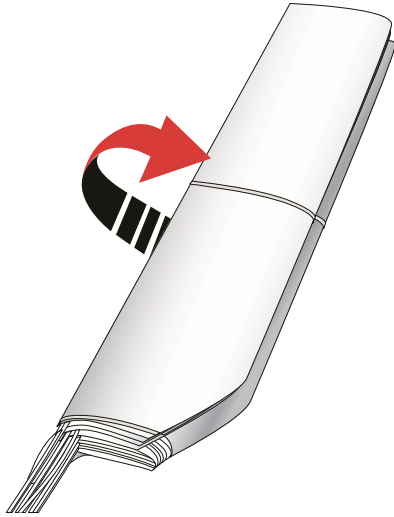
1) 図のように角を中心線の半分だけ折ります (45度)。

2) 次に、レスキューパラシュートの左右の端を中心線に合わせて折り込み、1/4に折ります。図のようにラインを折ります。



3) レスキューパラシュートを半分に折ります。

3



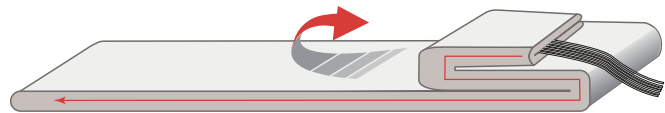
4) 図のように、レスキューパラシュートを慎重に折りたたんでください。

4



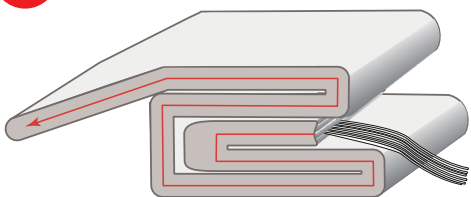
5) レスキューパラシュートをサスペンションラインの上
に折りたたみます。

5



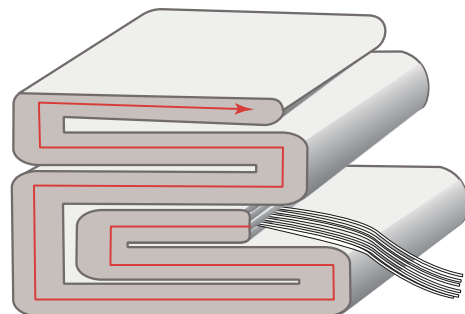
6) 上部を折りたたんできれいにします。

6



7) サスペンションラインが真ん中になるようにレスキューパラシュートを折りたたみ、必ずこのパターンに従ってください。

7



インナーバッグへの収納

インナーバッグの折り目の上にスカートがくるようにキャノピーを収納する。



ラインの収納

すべてのラインに均等なテンションがかかっていることを確認しながら、サスペンションラインを収納し始めます。上部のサスペンションラインをキャノピーとインナーバッグの間に入れ、1、2、3番の3つのフラップを、ゴムのループに通して3cmのループで閉じます。



下部サスペンションラインを「8の字」パターンで収納し、各ペアの両端をゴムバンドで固定します。

インナーコンテナを閉じる

インナーバッグに取り付けられたクロー징用ループを、最後の2つのフラップのアイレットに通し、サスペンションラインの3 cm ループを伸縮性ループに通します。ラインの最後の30~50cm は空けておきます。



テスト

ブライダルを持ち上げて、ラインがインナーコンテナの閉じているループから自由に解放するために必要な力を確認してください。この力は約 200g でなければいけません。この力は、バネ秤を使って検証することができます。

重要：

サスペンションラインは、常に均等な張力を持っている必要があります。

インナーコンテナに関する警告

Yeti Cross2 は、Gin gliders のオリジナルのインナーコンテナを使用してテストされ、適合していることが確認されています。(開閉速度の衝撃テストは、付属のインナーコンテナを使用して完了しています)他のインナーコンテナを使用すると、故障など異なる結果が生じる可能性があります。

Yeti Cross 2 は GIN ハーネスと互換性があります。他のメーカーのハーネスにも互換性がある可能性がありますが、保証はありませんので、インストラクターまたはディーラーに確認してください。

アウターコンテナへの取り付け

Yeti Cross 2 は、スピードグライダーハーネスのように、ハーネスが内蔵されていないハーネスにも取り付けることができます。

これらのハーネスにレスキューを使用するには、アウターコンテナが必要です。ハーネスとアウターコンテナを正しく取り付けるには、指示に従ってください。不明な点などがある場合は、専門家にご相談ください。

レスキューブライダルをハーネスウェビングに取り付ける

Yeti Cross 2 をハーネスに接続するには、以下の3つの方法があります。

レスキューカラビナ、ソフトシャックル、ダイレクトループです。別のタイプのコネクタを使用する場合は、最大重量の少なくとも9倍以上の定格が必要です。

たとえば、当社推奨の6mm ステンレススチール製スクリューゲートマイヨン(角型)コネクタの最小破壊荷重は31kN (3163 Kgf) です。

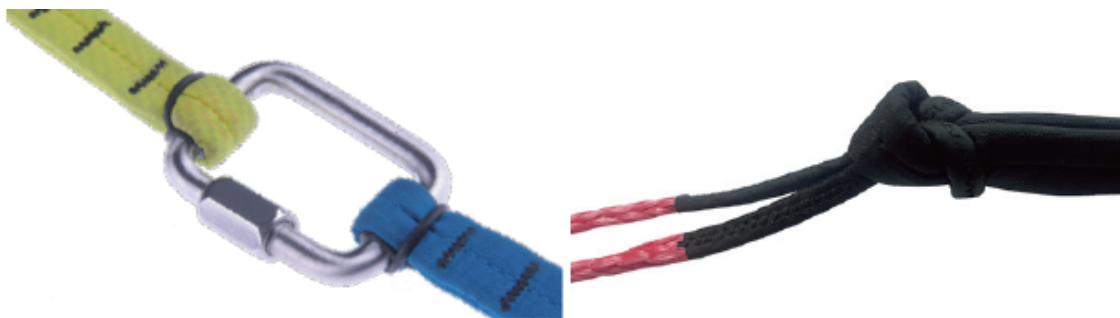
レスキューシステムの互換性を確認し、正しく設置されていることを確認するのはパイロットの責任です。

通常のメンテナンスや安全検査の際には、必ずコネクタを検査してください。

摩耗の兆候がある場合は必ず交換し、状態を確認してください。

その後、専門家にレスキューシステムをチェックしてもらいましょう。

過度の摩擦を防ぐために、マイヨンラピッドカバーを使用して接続部をカバーすることをお勧めします。また、アタッチメントを固定し、過度の摩擦を防ぐためにゴムバンドを使用する必要があります。



レスキューハンドル（グリップ）の取り付け

ほとんどのハーネスには、独自のレスキューハンドルが付属しています。

このハンドルとストラップは、パラシュートのインナーコンテナに接続する必要があります。特に、レスキューハンドルとインナーコンテナを接続するストラップの長さを確認してください。ストラップが先に張ってしまうと、ピンが抜けなくなる可能性があります。ストラップについては過度なたるみが生じるほど長すぎたはいけません。

プレフライトチェック

最大限の安全性を確保するためには、完全で一貫性のあるシステムでプレフライトチェックを行ってください。そして、フライトのたびに同じ手順を繰り返すようにしてください。

特にレスキューに関しては、以下の点をチェックしてください。

- 耐空性に影響するような目に見える損傷がないこと。
 - レスキューパラシュートコンテナは、ピンが所定の位置にあり正しく閉じていること。
 - レスキューハンドルが正しく固定され、すべての部品が良好な状態であること。
- ハーネス／リザーブ／ハンドルの一部に面テープが使用されている場合、面テープが時間の経過とともに食い込み、レスキューの展開が困難になるのを防ぐため、定期的に切り離し、再接着すること。

レスキュー展開

通常のフライト中、緊急時にレスキューに手を伸ばす動作が本能的にできるように、レスキューハンドルの位置を定期的に確認することが重要です。

緊急事態が発生した場合、パイロットは自分の高度と事態の深刻さを素早く判断しなければなりません。

その上で、レスキューを使用するか、または使用しないか、即時に判断する必要があります。グライダーが回復可能な時にレスキューを展開すると、負傷の危険性が高くなる可能性があります。

十分な高さがあり、グライダーがフラットスピンしている場合、絡まる危険性があるため、まずスピンを止めようとするのが望ましいです。

一方、高さが十分でない場合、レスキューを展開するのに1秒でもためらうと、その代償は大きくなる可能性があります。

手順

- レスキューハンドルを探し、片手でしっかりとつかんでください。
- ハンドルを上/横方向にしっかりと引きます。この操作で面テープまたはハンドルの留め具が外れ、リリース・ピンがリリース・ループから引き抜かれるため、ハーネスのレスキュー・コンパートメントからインナー・コンテナをリリースすることができます。
- 空いている場所を探し、連続した動きでレスキューを自分とグライダーから離れるように、できるだけ素早く力強く投げる（そしてリリースする！）。
レスキューを気流の方向に投げると、開くスピードが速くなります。
また、スピンの方向に対して投げることで、グライダーとの絡みを防ぐことができます。
- 展開後は、B,C,Dまたはブレーキラインを使って、できるだけ左右対称にグライダーを引き込み、もつれや振り子運動を避けるようにしてください。
- 着地時には、怪我のリスクを最小限にするため、必ずPLF（パラシュートランディングフォール）を行ってください。
- 地上に降りたら、引きずられる可能性を避けるため、センターラインを引っ張ってキャノピーを収縮させてください。

GIN レスキューパラシュートは、少なくとも6ヶ月に1度、パッキングのしかたに記載されているようにリパックする必要があります。

このレスキューパラシュートは、訓練を受けた専門のリガーが点検し、リパックすることをお勧めします。損傷や過度の摩耗が疑われる場合は、追加の点検を行う必要があります。

レスキューパラシュートは、開傘後、販売店または製造元で点検する必要があります。疑問がある場合は、必ず専門家にお問い合わせください。

GIN レスキューパラシュートに使用されている素材は、最大限の耐久性が得られるよう慎重に選択されています。

また、以下のガイドラインに従ってメンテナンスを行うことで、レスキューの寿命を延ばすことができます。

レスキューパラシュートは、たとえ一度も使用したことがない場合でも、10年経ったら交換することをお勧めします。

保管

紫外線への不必要な露出、高温多湿な場所での保管は避けてください。

ハーネスとレスキューを使用しないときは、リュックサックに入れておきましょう。

すべてのパラグライダー用具は、涼しく乾燥した場所に保管し、グリース、酸、油、塗料などの溶剤に触れないようにしてください。

湿った状態や濡れた状態でレスキューを収納しないでください。

万が一、レスキューパラシュートが濡れた場合（着水や雪など）、ハーネスから外し、空中で自然乾燥させ、コンテナに戻す前にリパックしてください。

汚れたレスキューパラシュートやコンテナは、ぬるま湯で洗うことができます。必要に応じてマイルドな中性石鹼を使用しても構いませんが、生地をこすらないでください。

キャノピーをよくすすぎ、自然乾燥させてください。キャノピーにカビが生えた場合は、強度が低下している可能性があるため、販売店またはメーカーに修理に出す必要があります。

レスキューを長期間保管する場合は、キャノピーを開いてゆるく巻いてください。

破損したレスキューパラシュート

点検後、レスキューパラシュートに目立った損傷がある場合は、レスキューパラシュートをメーカーに送り、点検／修理を受けてください。

Gin Gliders の品質とサービス

Gin Gliders は、製品の品質に誇りを持ち、お客様の製品の安全性や、製造上の欠陥に起因する機能に影響を及ぼすいかなる問題にも対処することをお約束します。お客様の製品に問題が生じた場合、商品の販売店がお客様の最初の連絡先となります。

販売店または Gin Gliders 輸入業者に連絡できない場合は、Gin Gliders のウェブサイトから直接お問い合わせください。

GIN 品質保証

Gin Gliders は、すべての製品の品質、クラフトマンシップ、性能を保証します。

素材や製造に欠陥のある製品は、Gin Gliders の判断により、修理または交換されます。

摩耗や破損、誤用や放置によって破損した製品は、わずかな料金で修理される場合があります。

製品に問題がある場合は、まず Gin Gliders の販売店、または Gin Gliders のウェブサイトから直接お問い合わせください。

環境への配慮

私たちは、美しい自然の中でフライトできる恵まれた環境にあります。環境に与える影響を最小限に抑えることで、自然を尊重し、保全することができます。

その地域を訪れる際には、環境的に敏感な地域や、地域の制限の詳細について、地元のクラブにお問い合わせください。

Gin Gliders は製品のライフサイクル全体に配慮しており、その最終段階は環境に優しい方法でリサイクルされます。

使用された合成素材は、適切に廃棄されなければなりません。お住まいの自治体のルールに従って、廃棄をお願いいたします。

RE-PACKING HISTORY

Pilot name:

First installation date:

--	--

Serial No.

--

Repacking Date

By

Signature

Repacking Date	By	Signature

このマニュアルに記載されている情報が正しいものであることを保証するために、あらゆる努力を行っておりますが、このマニュアルは、あくまでもガイダンスとして作成されたものであることをあらかじめご了承ください。また、本取扱説明書は予告なく変更される場合があります。

GIN レスキューパラシュートおよびその他の GIN 製品に関する最新情報は、www.gingliders.com をご覧ください。

Product registration

Register your product for full warranty benefits:

www.gingliders.com/register



Gin Gliders Inc.

2318-32, Baegok-daero, Mohyeon-myeon,
Cheoin-gu, Yongin-si, Gyeonggi-do, Korea 17036
www.gingliders.com

輸入代理店

有限会社アエロタクトコーポレーション
125-0035 東京都葛飾区南水元 2-26-11
Bell Wood bldg. 201 号室
www.aerotact.co.jp